

令和 8 年度 施政方針 要約版

長野県池田町長 矢口 稔 令和 8 年 2 月 2 6 日

1. まちづくりビジョン 2025

「やさしい（寛容な）町 いけだまちを目指します」

多様な人が安心して暮らせる温かいまちを目指し、以下の 5 つを大切にします。

- ・ 違いを認め合う — 年齢・出身・価値観の違いを尊重する町
- ・ 助け合い・支え合う — 地域ぐるみで「お互いさま」と声をかけ合える町
- ・ 新しい挑戦を応援する — 誰もがやりたいことに挑戦でき温かく見守られる町
- ・ みんなが居場所を感じられる — 誰もが「ここにいていい」と思える町
- ・ 優しさが循環する — 思いやりが自然に広がり心地よい雰囲気町

2. 令和 8 年度 3 つの重点施策

◆ ①新部署「みらい戦略室」設置によるまちづくりのスピードアップ

- ・ 組織改正により「みらい戦略室」を新設。プロジェクトマネージャー 1 名を新たに選任。
- ・ 移住・定住、関係人口創出、外部資金獲得、ブランド再設計・情報発信を総合的に推進。
- ・ 地域活性化企業人制度の活用も視野に、スタッフ確保を進める。

◆ ②住みやすい住宅確保と子育て世帯への支援

- ・ 空き家バンク制度の強化・空き家 200 軒超への積極的アプローチ。町有地活用も推進。
- ・ 民間こども園「野あそび保育あいそめ」が 4 月開園（信州型自然保育・特化型認定予定）。
- ・ 「こども誰でも通園制度」導入に向けて、こども家庭センター「にこまる」が対応。
- ・ 小中学校給食費の無償化継続、中学生への自転車補助など細やかな子育て支援を実施。

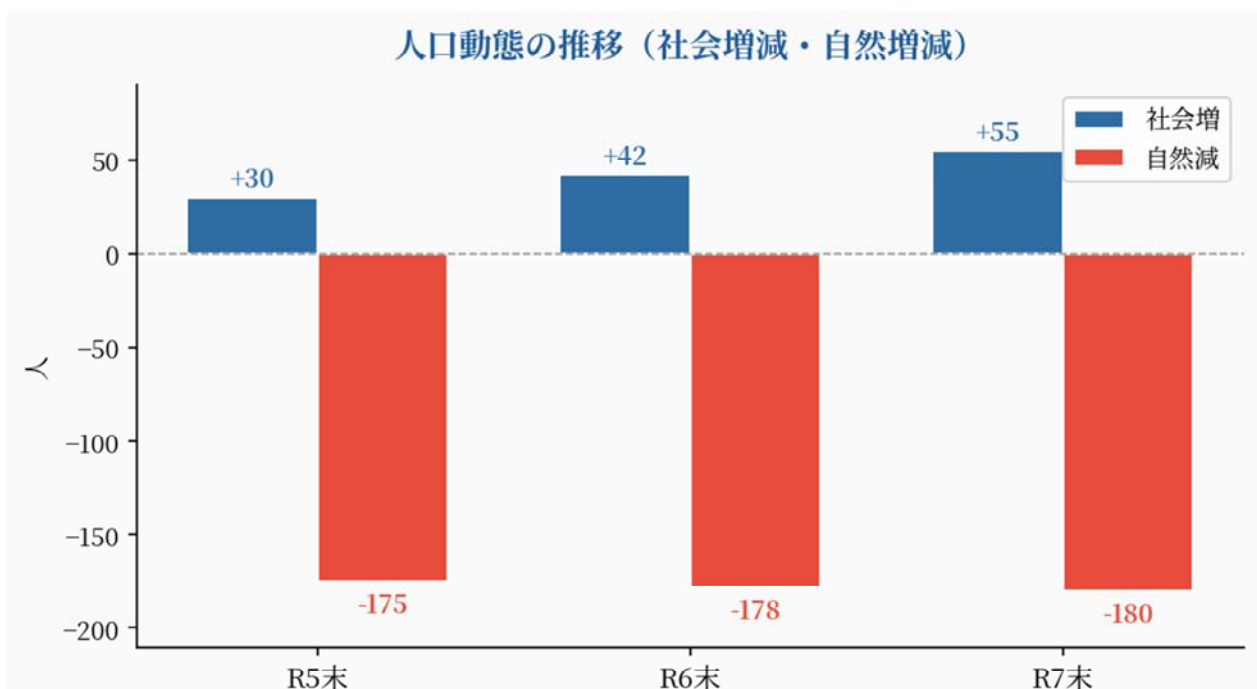
◆ ③ コミュニティ力強化と誰でも移動できる仕組みづくり

- ・自治会への加入メリット追求と運営負担軽減を推進。
- ・8～10月の3ヶ月間、電話予約式バス「デマンド交通」の実証実験を実施。
- ・デジタル簡易無線を活用し、各自主防災組織との災害連絡手段を強化。

3. 主要施策の概要

◆ 人口・移住定住

- ・R7末の社会増：+55人（年々拡大傾向）。自然減：-180人。人口8,967人（9,000人を割込み）。
- ・「ただいま★いけだまち」スローガン推進。Uターン特化・若年層転入促進。
- ・国交付金を活用した町外大学生への支援を新規計画。移住スカウト「スマウト」継続活用。



▲ 人口動態の推移（社会増は拡大、自然減は高止まり）

◆ 子育て・教育

- ・母子手帳アプリ「池田こどもがまんなかナビ by 母子モ」導入。
- ・会染小学校の大規模改修 設計費を計上。
- ・GIGA スクール：池田・会染両小4～6年生タブレット更新。ICT支援員継続配置。
- ・アルプス広場ローラースケート場のバスケットゴール更新（中学生提案）。

◆ 健康長寿・福祉

- ・ 特定健診受診率向上と社会福祉協議会連携による支え合いの仕組みを推進。
- ・ 第二次食育推進計画最終年度として、減塩運動・食育講演会を実施。
- ・ あづみ病院（救急告示病院）へ近隣 5 町村連携で財政支援（3 年間）。
- ・ 福祉分野の人材確保のため地域おこし協力隊 1 名採用。

◆ 産業・農業振興

- ・ 信州池田アグリ（株）の株式 50%以上取得済み。農業法人運営の軌道化を図る。
- ・ 「あづみ野池田スマート・テロワール構想」推進。農業体験・草刈り隊を結成。
- ・ ガーデンハックルベリーを活用した特産品開発継続（給食ジャム→店舗販売へ）。
- ・ 観光協会スタッフ 3 名が地域限定旅行業務取扱管理者試験合格、旅行業申請予定。
- ・ ハーブセンター指定管理者が 4 月交代。6 月に「花まつりウィーク（仮）」を開催予定。
- ・ 酒蔵まつり（5/30 予定）・ワインまつり（10/31 予定）開催予定。

◆ 危機管理・防災

- ・ 避難者用簡易ベッド・テント：最大 1,900 名分を確保済み。
トイレカー 2 台・トレーラー 1 台納入予定。
- ・ デジタル簡易無線による自主防災組織との情報網構築（広津・陸郷地区含む）。
- ・ 3/18 日本ムービングハウス協会と災害協定締結。各種団体との協定拡充継続。

◆ デジタル（DX）推進

- ・ デジタル活用推進係を設置して 1 年。国の自治体情報システム標準化に対応完了。
- ・ 町公式 LINE のバージョンアップで使いやすさを向上。
- ・ 生成 AI 活用推進（議事録作成・要約等）。地域活性化企業人制度導入も予定。

◆ 環境・里山・有害鳥獣

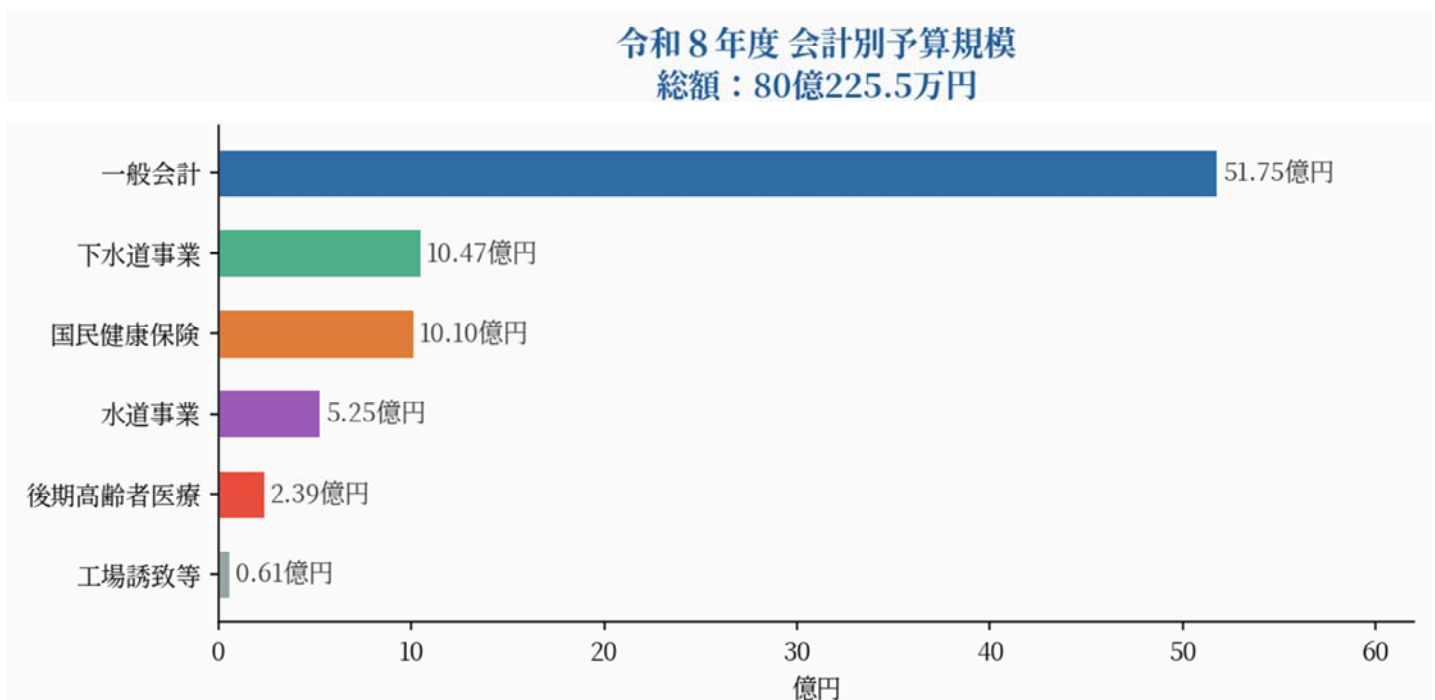
- ・ 自然共生サイト 2 か所指定（環境省）。生物多様性・ネイチャーポジティブの啓発活動。
- ・ 生ゴミ処理「キエーロ」の普及継続。
- ・ ガバメントハンター養成・緊急銃猟対応を近隣市町村と連携。
焼却施設・食肉加工処理施設の設置へ向け調整。

4. 財政状況と令和8年度予算

◆ 財政状況

指標	数値	備考
実質公債費比率（R7 見込）	10.5%（単年 8.5%）	シミュレーションより改善
町債残高（R7 見込）	26 億 4,700 万円	前年比 約▲19.6%
全体債務残高（下水道等含む）	56 億 2,100 万円	
基金残高（R7 末見込）	24 億 7,600 万円	R8 も財政調整基金繰入なし
経常収支比率（R6）	87.4%	

◆ 会計別予算規模（総額：80 億 225.5 万円）



▲ 会計別予算規模（一般会計が全体の約65%）

5. 組織・人員体制

- ・ 正規職員数：93 名（前年比+2 名）。
 - ・ 新部署「みらい戦略室」設置：プロジェクトマネージャー1 名配置
（プロジェクトマネージャーは DX 担当と計 2 名体制）。
 - ・ 地域おこし協力隊：現在 12 名 → 4 名募集し 16 名体制を目指す。
 - ・ 移住コーディネーター1 名、集落支援員 2 名継続。
 - ・ 地域活性化企業人制度の活用も検討中（特別交付税で費用措置予定）。
-

「安心」と「挑戦」の両輪で、行政と町民が協働する持続可能なまちづくりへ

人口減少対策スローガン 「ただいま★いけだまち」 小さな町で大きな幸せを見つけよう